

おひねりは…… サクラに持たせました(笑)。

8月8日(日)にあけぼのアート&コミュニティセンターで開催された『サマーフェスティバル 2010 in 曙』。新しい名称となってスタートしたお祭りは、第一部が体育館での腕自慢・のど自慢、第二部が屋外広場でよさこい演舞の披露&北海盆踊りで盛り上がった。今年新しい歩みを始めることができたのは、多くの人のイベントに対する愛着があってこそ。スタッフの皆様の、こなれた盛り上げ方も見習いたい。

曙地区連合町内会 会長 笹川 信雄

—『サマーフェスティバル 2010 in 曙』を開催するまでの経緯とは？

そもそもの始まりは、地域で芸能・文化活動をなさっている方々の発表の場として、2005年に開催した『ほのほの文化展』。旧曙小学校を、出会いの場も兼ねた、文化の発信地にしたいという想いがありました。これが好評を博しまして、翌年からは芸能発表に重点を置いた『ほのほの芸能祭』をスタートさせました。去年はあけぼのアート&コ

ミュニティセンターと合同で開催し、集客面、内容面ともに大成功のうちに終了したのです。

ただ、私たち連合町内会側は、イベント運営について皆素人。5回続けてきた『ほのほの』シリーズも、これ以上の内容にするのは難しかった。そこで基本的な主旨は変えず、地域の夏のお祭りとして、新しく『サマーフェスティバル 2010 in 曙』を開催することにしましたのが今までの流れです。毎回プレッシャーもありますし、イベントを維持していくこ



とは本当に難しいと感じています。ただ、お祭りは地域の人たちのコミュニケーションの場として、最高のもの。たくさんの人が一つの広場にいて、思い出話にひたったり、おいしいものを食べたり。皆にそうやって楽しんでもらえることが、一番の喜びです。

—歌謡ショーでは、おひねりを渡す人がたくさんいて驚きました。

おひねりは……サクラに持たせました(笑)。おひねりや投げ銭は、昔から続く文化の一つ。江戸時代だと、野菜をあげたりしたそうですよ。自分の場合は、文化を根付か

せようとしての演出ではなくて、ただ皆にウケようと思ってただけですけど。最近機会があるたびに、持たせているんですよ。おひねりって盛り上がりますでしょう? 「あとで返してね」と言って渡すんですけど、返ってきた試しがないですね(笑)。

—最後にまちへの想いをお願いします。

様々な世代が交わることで、それぞれの価値観や考え方の接点ができ、まちに新しい文化が根付いていけばいいなと思います。時間のかかることですが、そのために我々は今何をすべきなのか。これからも考えていきたいですね。

お問い合わせ先 ★ 曙まちづくりセンター / TEL 011-511-0116

猛暑の中、心から楽しんでいる皆さんの笑顔が印象的でした。笹川氏曰く「一番の目玉」という、旭丘高校合唱部の歌声も素晴らしかったです。
※ここに掲載できなかった取材時のお話は以下のアドレスで聞くことができます。
<http://www.sora43.jp/bn/machi/vol65.html>